

## 平成 29 年度 第 2 回宅地地盤の評価に関する最近の知見講習会のお知らせ

共催：公益社団法人 地盤工学会・地盤品質判定士協議会

後援：公益社団法人 土木学会・一般社団法人 日本建築学会・

一般社団法人 全国地質調査業協会連合会・一般社団法人 建設コンサルタント協会・

NPO 住宅地盤品質協会・一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会・

一般社団法人 地盤保証検査協会・公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会

2011 年 3 月の東日本大震災において埋立造成宅地の液状化被害および丘陵地造成宅地の盛土被害が他の施設被害に比べ顕著であったことが、地盤品質判定士の資格制度構築の契機となった。その後も 2013 年 10 月の伊豆大島豪雨災害や 2014 年 8 月の広島豪雨災害、2016 年 4 月の熊本地震においても宅地の被害が繰り返されており、宅地地盤の周辺地形地質環境を含めた地盤の安定性と地盤リスクを適切に評価することの重要性が再認識されています。

また、宅地地盤では、限られた情報の中での確に地盤状況と課題を把握し評価することが求められていることから、教科書的な知識だけではなく、常に新しい知見を得る必要があります。

地盤工学会では、地盤品質判定士資格の制度構築契機となった『液状化』と『谷埋め盛土』問題をはじめとして、戸建て住宅の『沈下障害』『地盤トラブル』、戸建て住宅のための『地盤調査方法』『対策方法』等、宅地に係る地盤技術者が実務で遭遇する課題や知っておかなければならない技術に関わる最近の話題・知見を集めた講習会を企画いたしました。奮って御参加下さい。

G-CPD ポイント：6.5

日 時：平成 29 年 11 月 27 日（月）9:30～17:30

会 場：地盤工学会 大会議室（東京都文京区千石 4-38-2, Tel 03-3946-8677）

会 費：会員 12,000 円 非会員 15,000 円（消費税を含む）

注：会員には、地盤工学会員、地盤品質判定士（補）、後援団体所属を含む

配布資料：本講習会のために講師の方が作成する説明資料の縮小コピーを配布します。

定 員：70 名

内容・講師：

時 間	内 容(仮称)	講 師
9:30～10:10 (40min)	地盤品質判定士の役割	日下部 治 【東京工業大学名誉教授】
10:10～11:10 (60min)	液状化に関する最近の知見	安田 進 【東京電機大学】
11:20～12:20 (60min)	谷埋め盛土造成地に関わる最近の知見	釜井 俊孝 【京都大学防災研究所】
13:20～14:20 (60min)	戸建て住宅のための地盤調査方法に関する最近の知見	大島 昭彦 【大阪市立大学】
14:20～15:20 (60min)	住宅の沈下障害の事例紹介	伊奈 潔 【中央建鉄株式会社】
15:30～16:30 (60min)	戸建て住宅のための地盤対策に関する最近の知見	二木 幹夫 【ベターリビング】
16:30～17:30 (60min)	戸建て住宅における地盤トラブルに関する最近の知見	藤井 衛 【元・東海大学教授】

注：都合により内容、講師、順番等が変更になる場合があります。

講習会申込み方法および申込み先：

氏名、勤務先・同住所・同電話番号、FAX、メールアドレス、会員（会員番号）・非会員の別を明記した申込書を FAX またはメールでお送り下さい。参加受付後、請求書と郵便振替用紙をお送りいたしますので、会費のご納入は請求金額をご確認のうえ郵便振替（または銀行送金）をお願いいたします。なお、銀行送金の場合には、請求番号と送金日を別途 FAX またはメールでご連絡下さい。

地盤工学会講習会係 E-mail:kosyukai@jiban.or.jp FAX:03-3946-8699 電話：03-3946-8671

<講習会申込フォーム>[https://www.jiban.or.jp/info/application\\_form\\_kosyukai.html](https://www.jiban.or.jp/info/application_form_kosyukai.html)